

## 2004「植村直己冒険賞」受賞者



渡邊 玉枝  
山梨県富士河口湖町在住

### 女性世界最高齢で8000m峰5座目となるローツェ登頂

#### 趣 旨

神奈川県教育委員会職員として勤務していた都会での生活の中で、「自然の中に入っていく趣味を持ちたい」と強く思っていた。

28歳のころ職場の上高地ハイキングに参加後、県庁の山岳会に入会登山の面白さに目覚める。しかし、当時の仲間たちも結婚や管理職に就くなどにつけ、次第に山から離れていった。

88年～89年は仲間不足から海外に目を向け、キリマンジャロ、マッターホルン、アコンカグア等をツアー会社に応募して登り、52歳からは同人シルバートールという50歳以上のグループの誘いを受けてヒマラヤを目指すようになった。この仲間達と59歳までに8千メートル峰を3座登頂する。63歳の時にカメラマンの村口徳行氏（98年ガッシャーブルムⅡ峰と一緒に登っている）に誘われて世界最高峰のエベレストに登頂、これで8千メートル峰は4座になる。その後、数の区切りが良い5座まではのぼってみたいなぁと思っていたところ、2004年2月末、エベレストも一緒に登った村口氏から突然ローツェに行くことを伺い、トレーニングも事前の準備もないまま、このチャンスを逃すと8千メートル峰5座の実現の実現は難しいと考えて、ローツェ行きを決めた。

『自分が50歳を過ぎてからヒマラヤに登るなんて思いもしませんでしたし、勤めをしながら行ける山とも思いませんでした。趣味で、好きで歩いてきた山々です。登山家と呼ばれるような実績ではありません。その時々が良い仲間と、職場に恵まれて、ここまで来られたのだと思っています。』と語る。

#### 冒険内容

50歳からのヒマラヤ登山に挑戦。

昨年エベレストに登頂し、63歳の女性世界最高齢登頂記録達成。04年5月15日世界第4位の高峰ローツェ（8516m）に西面ルートを経ての登頂。65歳でのローツェ登頂はもちろん世界最高齢記録だが、8000m峰登頂数は、チョー・オユー（8201m）、ダウラギリ（8167m）、ガッシャーブルムⅡ峰（8035m）、エベレスト（8848m）に続いてこれで5座目となりこれは女性の8千メートル峰登頂数としては世界でも5位タイとなる（故人を除く）。

## 工夫、独創性

ヒマラヤ登山のチャンスがあればいつでも出かけられるように、最低月2回の登山を続けていた。

## 冒険経歴

1977年	マッキンリー (6194m)	=アラスカ
1981年	モンブラン (4807m)	=フランス
1988年	キリマンジャロ (5895m)	=タンザニア
1989年	マッターホルン (4478m)	=スイス
	アコンカグア (6959m)	=アルゼンチン
1991年	チョー・オユー (8201m)	=中国
1994年	ダウラギリ I (8167m)	=ネパール
1998年	ガッシャーブルム II (8035m)	=パキスタン
1999年	ポベータ (7439m)	=キルギスタン
2000年	ワスカラン (6768m)	=ペルー
2001年	ムスターグ・アタ (7546m)	=中国
2002年	エベレスト (8848m)	=ネパール
2004年	ローツェ (8516m)	=ネパール

## その他

1998年読売新聞日本スポーツ賞（山岳）受賞

2002年11月神奈川スポーツ賞（登山）受賞

現在、日本山岳会会員、ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト（田部井淳子代表）の評議員  
環境省自然公園指導員、富士山麓青木ヶ原樹海を案内する富士河口湖町公認ネイチャーガイドを勤める。富士河口湖町特別町民に選ばれる。

2003年夏、自身の生い立ちをまとめた「63歳のエヴェレスト（白水社刊）」を上梓

## 2004 冒険情報一覧表

	山	縦横断	海	極地	空	川	その他	計
個人活動	25	50	12	2	0	0	0	89
団体活動	36	9	1	0	1	1	0	48
合計	61	59	13	2	1	1	0	137